



〒098-2501  
北海道中川郡音威子府村字音威子府181番地1  
電話 01656-5-3044 FAX 01656-5-3838  
e-mail otokoh@seagreen.ocn.ne.jp  
ホームページ http://www.otoineppu-h.ed.jp/

## 「未完成こそ尊い」

校長 池原 智宏

今夏は、6月から8月上旬にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多く、気温がかなり高くなり、特に、北海道でも7月中旬から8月上旬にかけては、太平洋高気圧の張り出しが強くなったことで、7月に1946年の北海道の気象台統計開始以降、月平均気温が最も高く、高温となりました。ここ音威子府でも連日の猛暑で、生徒達も教職員も体力的に厳しい日々を何とか乗り切りました。また、新型コロナウイルス感染症は、変異株が広がり、今だ厳しい状況が続いていますが、「新しい生活様式」にも生徒達も慣れ、元気に学校生活を送っております。

さて、気がつけば早いもので今年度の学校生活も半分が終わり、残り半分となりました。1年生は、基礎学力・基礎技術をしっかり学び身につけ、2年生からの選択したコースへの準備をしてもらいたいと思います。2年生は、卒業後の進路を見定めた日々の学習を続け、卒業制作などへの力を付けてもらいたいと思います。3年生には、今、正に進路決定のための闘いを行っている最中です。これまで身につけた全てを出し切り、どうか夢を現実のものとして下さい。また、卒業制作に向けても頑張ってください。

本校の生徒達は作品制作を通じて社会的感覚を身につけています。9月8日～9日に実施した今年度の「デザインスクール」の講義で、講師の東海大学教授 中尾 紀行先生は、講義の最後に生徒達に向けてこのような話をされました。「自分の身につけていることを社会のために生かしていく。それが仕事である。」「デザインは、相手のために何を創るかを意識して制作すること」。まさに自分の進路実現のために身につけなければならない大切なことを学んだ有意義な時間ではなかったでしょうか。

話は変わりますが、19世紀イギリスにジョン・ラスキンという美術評論家いました。彼は、イタリアヴェネチアのゴシック建築について著書の中で、「未完成でない建築は本当の意味で高貴なものとなりえない」と言っています。この言い方は誤解される言い方で、逆説的に表現したものであり「未完成なものこそ高貴だ」と言っています。建築は設計する人と建てる職人とに別れています。ゴシック建築は、職人達が自由な仕事を行い建築して完成させていきました。その結果、設計図と同じにはならず、完成とはならなかったというわけです。つまり、凶面通りではない、職人の長所だけではなく短所もそのまま生かした自由な仕事によってでき

た建築物こそ高貴なものであるというわけです。職人達が手を加え、形を成長させていった建築物が素晴らしいということです。作品も人も、未完成だからこそ改善点もあり成長できると思います。一時的な完成に満足することなく、人生をかけてパーフェクトを追い求めてもらいたい。ここ、おといねっぶ美術工芸高等学校で学ぶ全ての生徒諸君の成長に期待しています。

最後に、保護者の皆さまにおかれましては、生徒達への応援、そして、学校への理解と御協力をいただき大変感謝しております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

## 支え合えば可能性は無限大

教務部長 森下 瑛仁

私はこの学校に勤務して5年目になります。私が出会った3年生たちがもう22歳となり今年度の教育実習に来てくれました。そんな卒業生たちと今の在校生たちが違う立場でともに学び合う姿を見て、イチ教育者として自分の仕事に誇りを持つ瞬間に出会えた気がします。

本校の子どもたちの放課後を見ると本当に様々な活動で忙しくも充実しているようです。私は英語科教員なので、放課後の子どもたちとの関わりは講習・検定と追試です。具体的には英語が得意な子どもたちと苦手な子どもたちを、日をつけて指導しているのですが、どちらも確実に基礎学力は伸びていると実感します。短期記憶の向上や英語に対する理解はもちろんです。指導中の子どもたちの様子を見てみると、お互いに教え合ったり、時にはキビシイ言葉をかけて励まし合ったりしています。この支え合いの姿勢は地域での学校生活や寮生活が生み出しているのだらうと考えています。欲を言えば、忙しい中でも時間を生み出して、家庭学習をしてから講習を受けたり追試に臨んでいただきたいですね。

さて、前期が終わる前に、1年生の授業と一緒に確認したのですが、後期の目標は1年生、英検3級全員合格です。英検3級は中学校3年分の内容をキチンと理解している必要があります。その土台があれば高校の英語は誰でも成長できます。2年生は部活と進路活動に、3年生は受験と思い出作りに精をだしてみてください。残り半年子どもたちと一緒に頑張っていきたいと思います。

※今年度から英語検定だけでなく漢字検定も村の助成がありますので、お子様への受験をぜひすすめてみてください。

## 規則正しい生活を

生徒指導部長 林 一浩

令和3年度も半分が終わり、音威子府の空気も少しずつ秋のよそおいを見せてきました。

前期の間、大きな問題もなく元気に学校生活を送っていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、行事が縮小、中止となり、昨年度と同様に我慢の日々過ごしてきたように思います。第5波の波は収束してきていますが、今後どうなるのか、後期も生徒に我慢してもらわなければならないのかと考えると胸が痛みます。一日も早く、穏やかな日常が帰ってきてほしいものです。

穏やかな日常を取り戻すためにも、日々の生活をしっかりと送ることが大切だと考えています。学期間休業中も生徒には規則正しい生活してほしいと思っています。生徒の皆さんは学期間休業中もしっかりとした生活を送ってください。そして、保護者の皆さんはお子様の生活を注意してみてください。

後期からも新型コロナウイルスの影響に負けないように、明るく、元気よく、精一杯頑張っていきましょう。

## 進路実現に向けて

進路指導部長 石川 朋美

今年度も専門学校進学希望者は7月から、就職と大学進学希望者は9月から選考試験が始まりました。この2年数か月で思い描いた目標がいよいよ形とし達成していく時期となります。3年生の生徒は書類作成や面接練習、実技練習などそれぞれが今できる精一杯の力で臨んでいます。特に大学入試は昨年度より大きく変化しました。大学センター試験は共通テストと名称が変わり問題の出題形態も変わりました。旧AO入試は総合型選抜試験、旧推薦入試は学校推薦型選抜試験と名称が変わり内容に変化もありました。美術大学においても実技試験や面接試験はもちろん、小論文、プレゼンテーション、ポートフォリオ、活動報告書、体験授業など複数の課題を出し多面的に評価し、選考する学校も増えてきています。よってこの入試改革で早期準備の大切さ、もっといえば1、2年生での部活動や積極的に学内外で行ってきた活動経験が進路実現に関わってきます。

受験はみんな一緒にゴールはできないけど、周りには一緒に頑張っている仲間がいます。支え応援してくれる保護者や教職員がいます。最後まで全力で走り抜きましょう。

## できごと

### 《デザインスクール(2年生)》

9月8日(水)・9日(木)に、2年生が本校を会場にデザインスクールを実施しました。本来であれば、東海大学のキャンパスで学習する内容を本校を会場に学習しました。生徒たちは、限られた時間内でクラスメイトの帽子を製作するという、普段は経験できない授業で、相手のことを考えて作品を製作する、楽しさや楽しさを学ぶことができました。



## 行事

- 10月11日 後期始業式
- 23日 一日体験入学
- 25日 振替休日
- 28日 地区別懇談会(音威子府)
- 30日 地区別懇談会(札幌)
- 31日 地区別懇談会(旭川)
- 11月17日 後期中間考査 ～19日
- 25日 高大連携授業(2年生 本校)
- 12月未定 体育祭
- 22日 大掃除・全校集会
- 23日 帰省日・冬季休業～1/10

**子ども相談支援センター  
相談窓口のお知らせ**

いじめや登校、休学などの学習意欲に関する悩み、子育て・しつけなど  
家庭学習に関する悩みなど相談してください。

---

●電話相談  
☎ 0120-3882-56  
(無料、毎日24時間対応)

---

●メール相談  
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp  
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

---

●来庁相談  
(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)  
子ども相談支援センター  
札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階  
※上記の電話番号で予約してください。

---

センターのWebページに「子ども相談支援センターへの相談案内」を掲載しています。次のURLからご覧ください。  
URL <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>